

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会（第24期・第2回）
議事要旨

1. 日時 平成30年4月19日（木）14:00～16:00

2. 場所 日本学術会議6階 6-A(2) 会議室

3. 出席者（敬称略）

【委員】大倉、柴山、桑野、須田、柘植、永井、中川、野口、萩原、藤原、松尾、松岡、水野、
宮崎（久）、宮崎（恵）、向殿、望月、矢川

4. 議題

[1] 議事録確認

第1回分科会議事要旨については、メール審議し、最終的に委員長に一任することとなった。

[2] 小委員会活動報告

[2-1] 安全目標の検討小委員会

野口副委員長により、今期は、社会実装のため、各カテゴリーの民間の参考人から意見を聞く予定にしていること、提言の公表を目標にしていること等の説明があった。

[2-2] 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会

藤原委員により、第1回小委員会の報告と、本小委員会の目的や安全工学シンポジウム（下記[4]参照）の企画の準備状況の補足説明があった。

[2-3] 工学システムに対する安心感等検討小委員会

大倉委員により、第1回小委員会で予定されている講演の紹介があった。新規の小委員会ということもあり、本小委員会への要望や関連する情報について意見交換を行った。

[3] 課題別委員会「自動車の自動運転の推進と社会的課題に関する委員会」

永井委員により、新規に設置された課題別委員会の概要説明があった。本課題別委員会への委員の追加については、本分科会の審議範囲でないため、第1回課題別委員会で審議することとなった。

[4] 安全工学シンポジウム

松岡委員により、2018年7月4日～6日に開催される安全工学シンポジウムの説明があった。

[5] 話題提供

野口副委員長から、「安全安心のフレームについて」という表題で話題提供があった。リスクの質や表現方法、分野や国によるリスクの考え方や社会への受け入れられ方等の違いについて意見交換を行った。

[6] 次回について

次回は、望月委員が話題提供者となり、次回の日程は、幹事がwebシステムで調整をすることとなった。

（以上）